


瞬間テープ貼り機

TAPE-SHOT

—  テープショット

取扱説明書



この度は、お買い上げいただきありがとうございます。本製品の正しい使い方と使用上の注意についてご理解いただくため、この取扱説明書をよくお読み下さい。お読みになった後は、必ず大切に保管してください。

安全にご使用いただくために

- 1: 電源は適正配線されたコンセントからお取りください
本製品はAC100V(50/60h)以外の電源に接続すると機械が故障します。
電源プラグをしっかりとコンセントの根本まで差し込み、プラグがぐらつかないか確認してください。
- 2: 機械内部のカッター一部には手を触れないでください
テープの切断用に鋭利な刃物を使用しています、刃先に触れると怪我をする恐れがあります。
- 3: 機械が故障する危険性がありますので、下記のような場所では使用しないで下さい
① 粉体の充満している場所 ② 常温でない場所
③ 湿度が高い場所 ④ 平たんでない所
- 4: 改造はしないでください
本機をお客様で分解改造、又は規定外の部品を装着されますと故障などの原因になるばかりか、危険を伴いますので絶対におやめ下さい。その場合、当社は保証の責任を負いかねます。必ず当社が販売している指定の純正部品をお使い下さい。
- 5: 消耗品は、品質検査に合格した純正品をご使用ください。
純正品以外の消耗品の使用が原因で、本機に不具合が生じた場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 6: 正しくお使い下さい
本機は、本書に記載されている「正しい使い方」に従ってご使用下さい。それ以外の方法でご使用になると故障の原因となり大変危険です。その場合当社は保証の責任を負いかねます。

製品名	TAPE-SHOT	最大間口	50mm
機械寸法	185×280×160	重量	3kg
電源	AC100V(50/60)	消費電力	15w

※電源電圧は100V±3%でご使用下さい。

消耗品の保管・取扱いについて

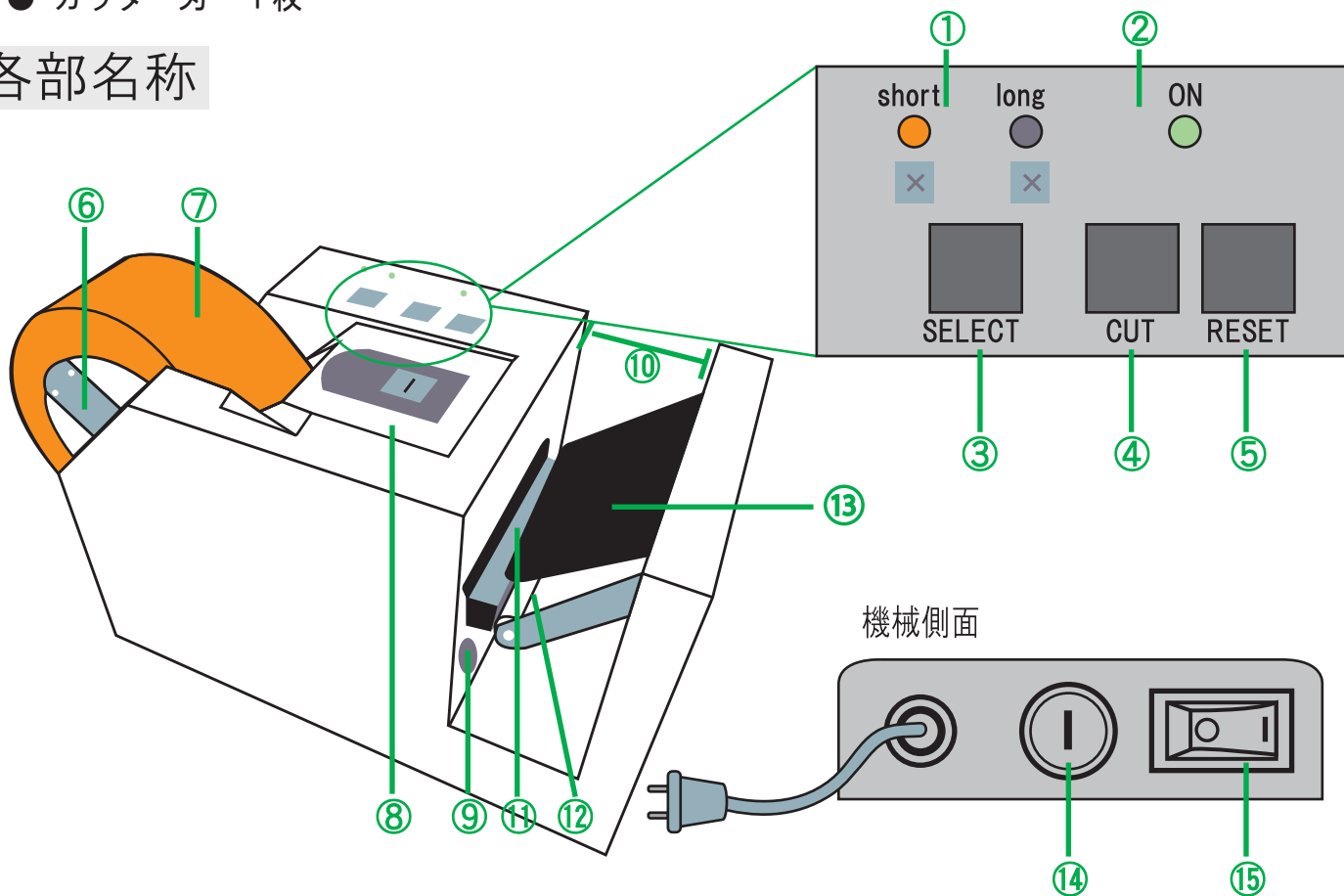
- 1: 日の当たるところや、高温(35℃以上)になりやすい保管場所にあると、テープが変形してしまう恐れがあります。
- 2: 冬場、テープ自体が冷たくなっている場合、粘着材が硬化して貼り付きが悪く感じられることがあります。温かい場所で人肌程度まで戻りましたら再度お試しください。
- 3: 本消耗品は印刷面への糊残り、色落ちのしない書籍専用フィルムを使用しておりますが、一部の特殊表面加工(マットコート・エンボス加工)を施した表紙には、貼り付かない事があります。また、一部週刊誌につきましては、製本時に発生する紙粉の影響で表紙への貼り付きが悪く感じられる場合があります。

製品の確認

次のものがすべて揃っていることを確認して下さい。不足している場合や破損している場合は、ご連絡下さい。

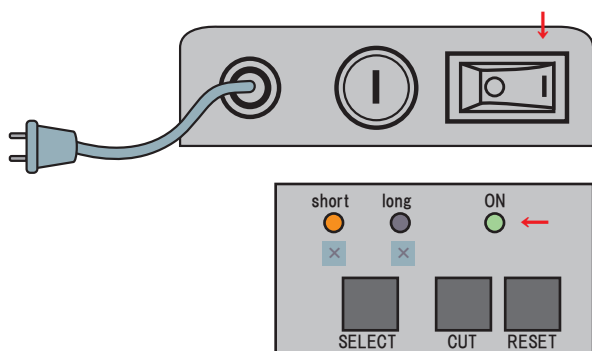
- テープホルダー(各部名称ページの⑥)
- ふた(カバー)(各部名称ページの⑧)
- 送り出しゴム 3本
- カッター刃 1枚

各部名称

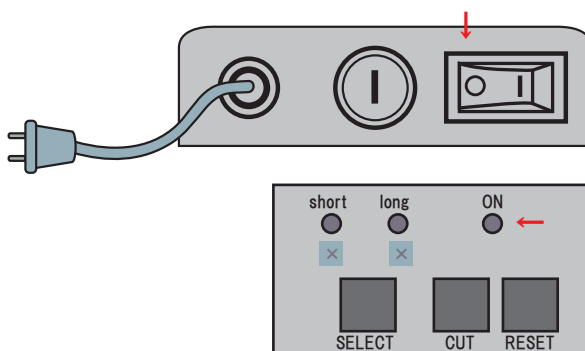


①セレクトランプ	SHORT(6cm)/LONG(8cm)	⑨センサー	テープを送り出しカットします
②電源ランプ	電源ON時に点灯	⑩投入間口	この中に本を投入します
③セレクトボタン	テープの長さを選びます	⑪テーブル	
④カットボタン	テープをカットします	⑫ローラー	
⑤リセットボタン	テープを送り出しカットします	⑬プレート	
⑥テープホルダー	テープにはめます	⑭ヒューズ	ホルダーの中に挿さっています
⑦テープ	粘着面は上向きに取り付けます	⑮電源スイッチ	電源のON/OFF
⑧ふた(カバー)	テープセット時に開閉します		

【1. 電源ON/OFF】



【ON】
コンセントを電源に差し込み、機械側面のスイッチを入れます。機械上部のランプが緑色に点灯します。



【OFF】
機械側面のスイッチを切ります。機械上部のランプが消灯します。長時間使用しない場合はコンセントを電源から抜いて下さい。

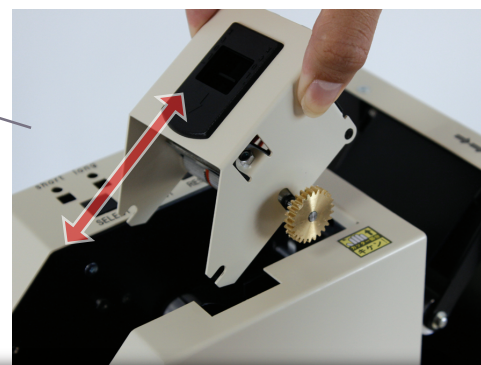
【2. ふたの開閉】



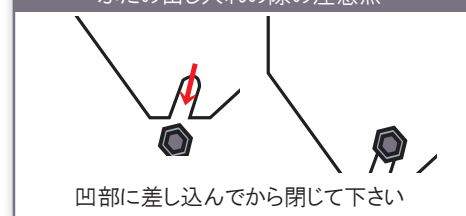
①ツマミを矢印の方向へ引いて下さい。
ロックが解除され、ふたが浮きます。



②浮いたふたを矢印の方向へ回転させ、持ち上げて取り外して下さい。

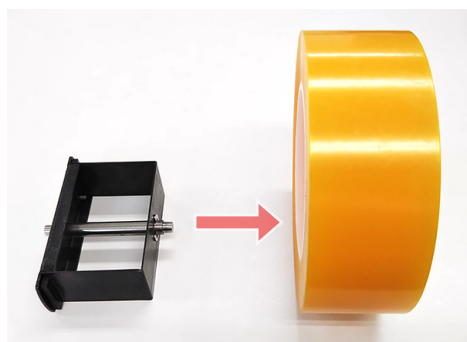


ふたの出し入れの際の注意点

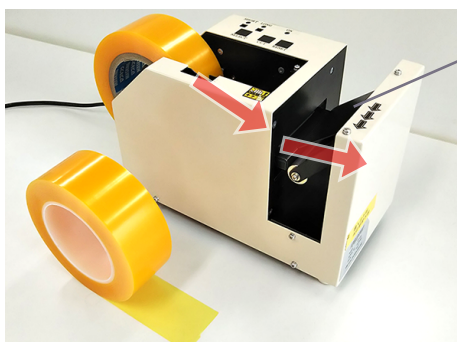


③ふたを戻す際は、右の注意点を確認の上カチッと音が鳴るまで押して下さい。

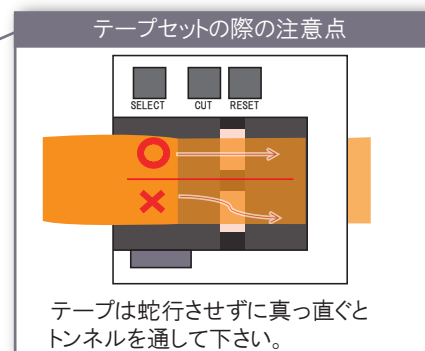
【3. テープのセット】



①テープホルダーをテープの芯へはめます。
コアの向きは左右どちらでも構いません。



②ふたを開けた状態で、テープの粘着面が上を向くようにテープホルダーをセットし、テープの端をトンネルの中へくぐらせます。2~3cm外へ出るまで延ばして下さい。



テープは蛇行させずに真っ直ぐとトンネルを通して下さい。

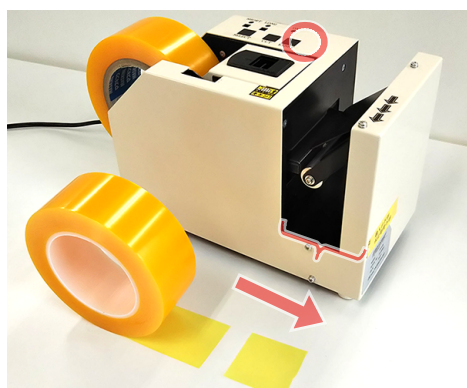
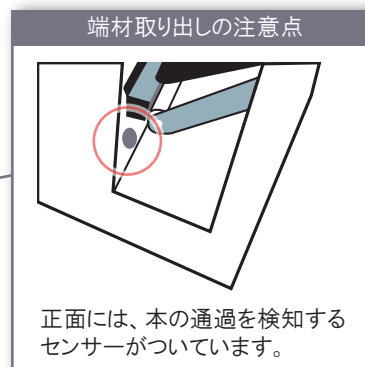
【4. 基本動作】



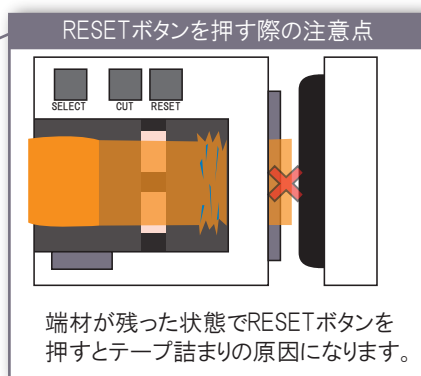
①ふたを閉めた上で、**CUTボタン**を押します。すると機械内部で刃が降り、テープを切り離します。



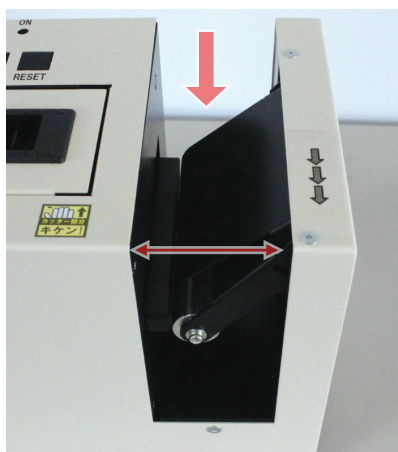
②必ず、**機械背面**より切り離された端材を取りだして下さい。正面にはセンサーがあり誤作動を起こします。



③端材が残っていないことを確認し、**RESETボタン**を押してください。本1冊分のテープが送りだされます。



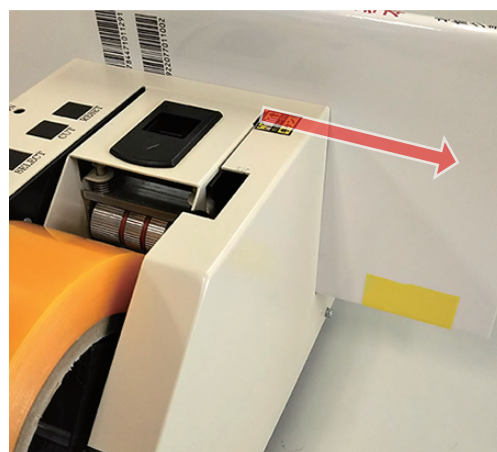
【5. 本の挿入】



①開口部に本を見開き側から**垂直**にまっすぐ落とし込みます。

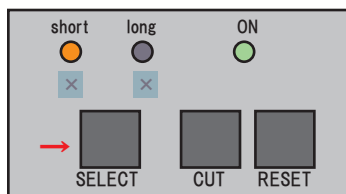
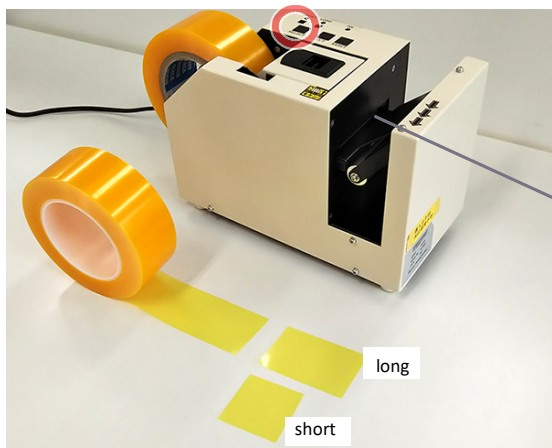


②**自重**により着地させて下さい。強い力を入れる必要はありません



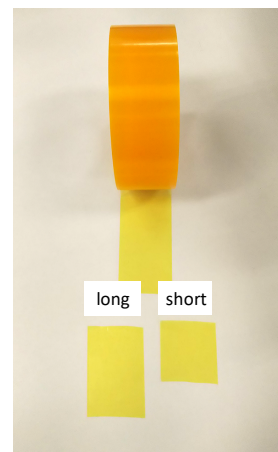
③着地しましたら、まっすぐと**手前**に**スライド**させて引き抜いて下さい。

【5-1. 本の厚みに合わせてテープの長さを変更できます】



長さ切替時の注意点

前のテープが残っている場合、
2冊目より設定が反映されます。



①SELECTボタンを押し替えることでテープの
short(6cm)/long(8cm)を切り替えることができます。

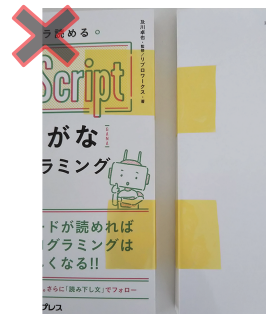
【5-2. 表紙の向きに合わせてテープの長さを統一できます】



①本の表紙側を矢印の向き(左向き)に合わせて本
を開口間口に差し込みます。

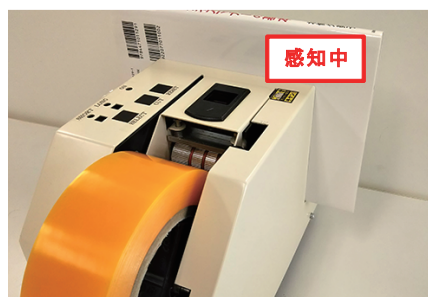


【左向きに挿した場合】
short/longに関係せず、表紙側を
一定の長さに統一させることができ、
余った部分は裏面へ回ります。

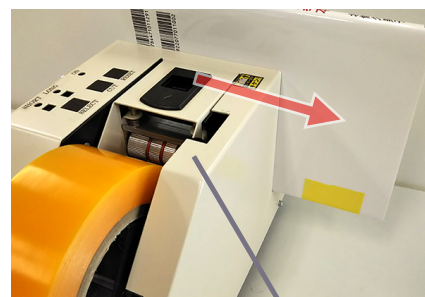


【右向きに挿した場合】
余った部分が表紙へ回るため、
表紙を邪魔します。

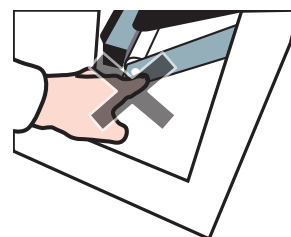
【5-3. センサーで制御しています】



②本を入れるとセンサーが感知し、本を抜くと次のテープが自動で送り出されます。



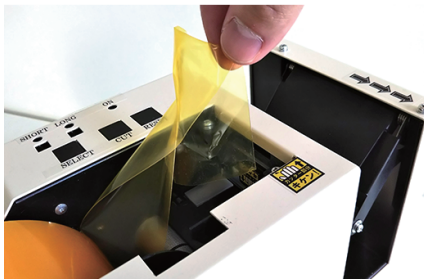
端材取り出しの注意点



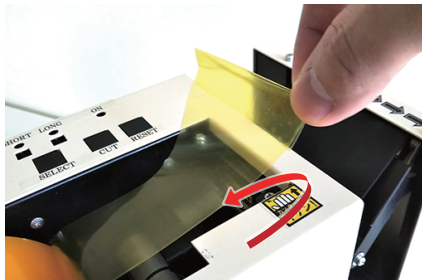
端材は必ず背面側から取り除くか、
【電源OFF】にして取り除いて下さい。

故障かな？と思ったら

【テープが出ない・詰まった場合】

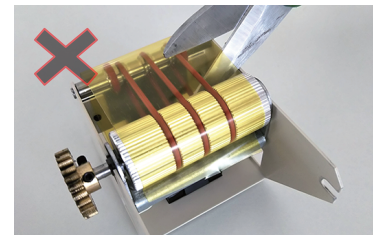


① すみやかにふたを開けて、詰まった箇所を引き出して下さい。



② テープ端を折りなおしていただくと、トンネルに通しやすくなります。

内部詰まりの際の注意点



ハサミ等で、テープを切らないでください。誤って部品を傷つける恐れがあります。

【センサー周りに異物はないですか？】



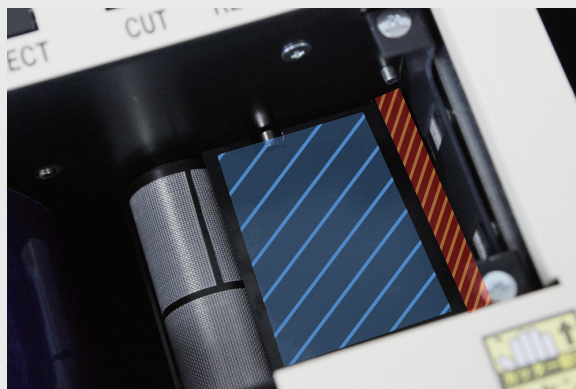
端材やゴミがある場合は電源OFFにさせていただき、センサーの反対側より取り除き、リセットして下さい。

【挿入口に端材は残っていませんか？】



端材を取り除いた上でRESETボタンを押して下さい。テープ詰まりの原因になります。

【ふたの内側が汚れていませんか？】



※必ず電源OFF、コンセントを抜いて作業して下さい※
※赤マーク部は刃が降りる場所です、危険ですので触れないで下さい※

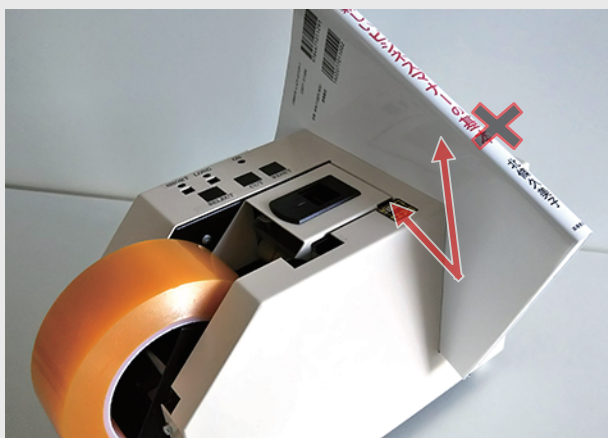
コーヒーや油汚れなどが内部に飛散・付着して硬化すると、テープの動きが悪くなり、詰まりの原因になります。
市販のクリーナーと布を使用して青マーク部を清掃してください。

【挿入口のプレートが閉じていませんか？】



プレートの動きが悪く、閉じた状態になっていると、テープ詰まりの原因になります。

【本を正しく手前に引いていますか？】

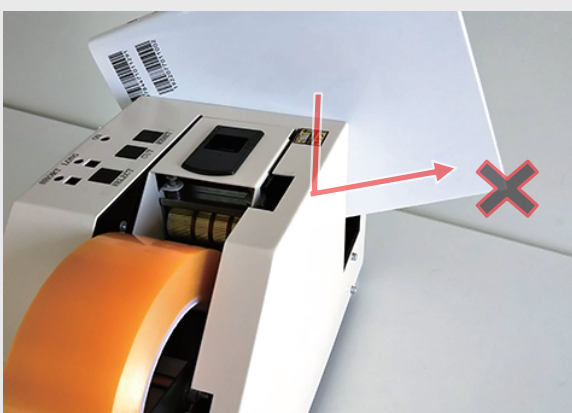


×異なる方向へ引くと、テープ詰まりの原因になります。

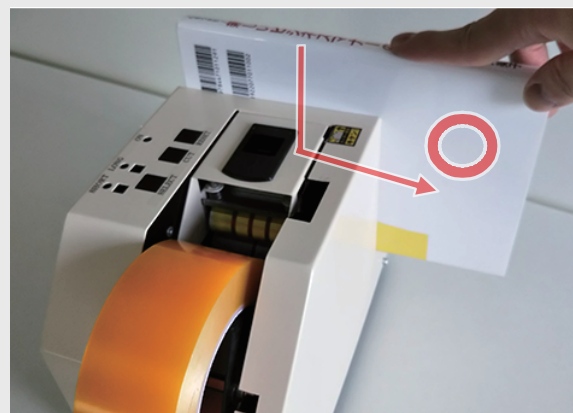


○手前に引いてください。

【本を浮かせていませんか？】



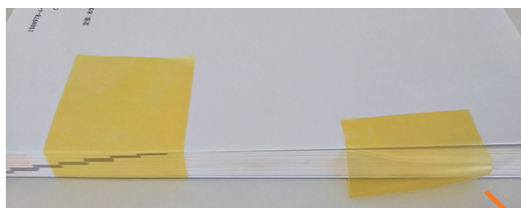
×浮かせると、センサーが正常に感知せず、テープ詰まりの原因になります。



○浮かさずに、手前に引いてください。

⇒症状が改善しない場合、弊社までご連絡下さい

【仕上がりが均一にならない場合】



テープ留めが均一にならない場合、本の差し込み方が原因の可能性がございます。正しく本が挿入されていることを確認してください。

▲テープ比較

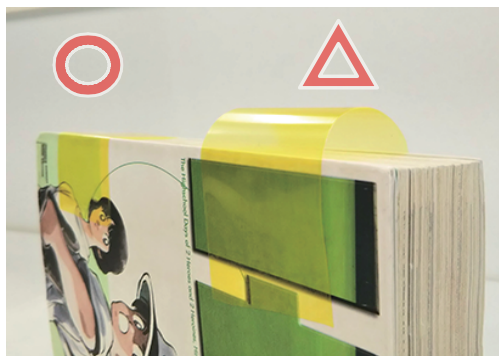


○正しく本が挿入されている。

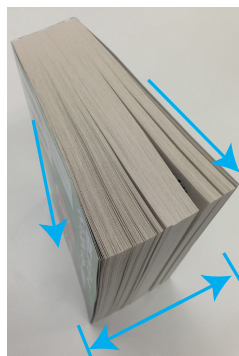


×本が浮いて、挿入されている。

【テープと本のスキマが気になる場合】



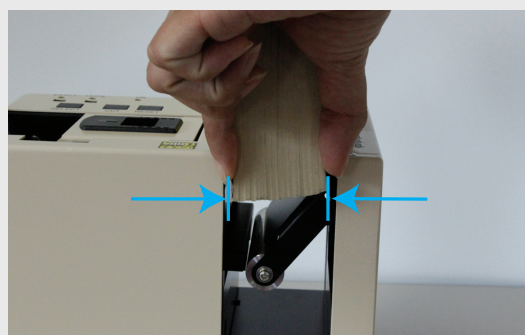
▲テープ比較



廉価版コミックにみられる厚めの本は、表紙が広がりやすい性質があります。差し込む際に、見開き口を手で押さえて、閉じた状態のまま機械に挿入して下さい。



広がった状態で機械に挿入するとテープの余りが多くなってしまい、見栄えに影響することがあります。



手で広がりを抑えることでテープの余りを最小限にし、見栄え良く陳列していただけます。

テープ留めの注意

【I. ふろく付き雑誌の留め方】



【long推奨】

タイトルによっては大きささまざまな付録が同梱されています。テープの貼り付け面が平面ではない時には、本とテープが接着しない場合がございます。



○挿入部分を平面にした状態



×付録が斜めになっている状態



○挿入部分を平面にした状態



×間口の一部が凹んでいる状態

本機は印刷面への糊残り・色落ちの無い書籍専用フィルムを使用しておりますが、一部の特殊表面加工（マットコート・エンボス加工）を施した表紙には、貼り付かないことがあります。また、一部週刊誌につきましては、製本時に発生する紙粉の影響で表紙への張り付きが悪く感じられる場合がございます。

【Ⅱ. 薄い冊子の留め方】

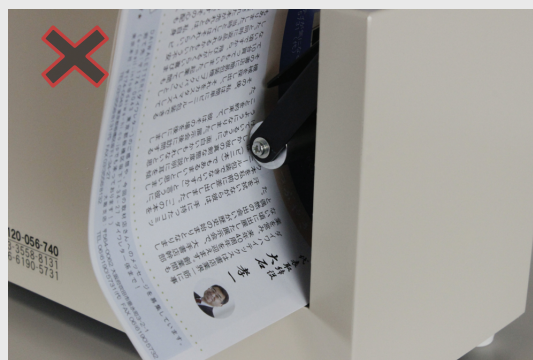


薄い本は力を加え過ぎず、両手で着地させるように挿入して下さい。

本がゆがみテープが接着しない場合がございます。



○本の重みで”ストン”と落とすように挿入してください。



×押し込みすぎると本が変形してしまいテープが本に接着しません。

アフターサービスについて

1. 保証期間中に、正常な使用状況で、万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき「無償修理」いたしますので下記までご連絡下さい。

- ・電源コード・コンセントの破損
 - ・作業台からの落下による破損 及び それに類する破損
- （上記を除く）

株式会社ダイワハイテックス 技術部 03-3558-8131

2. 保証期間経過後の修理については有料となります。

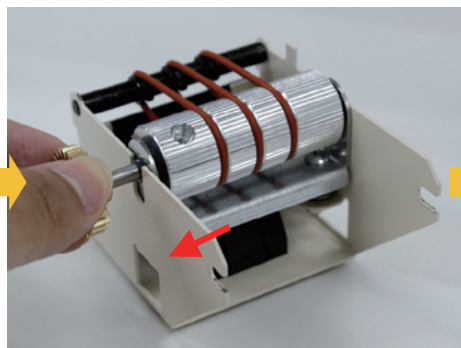
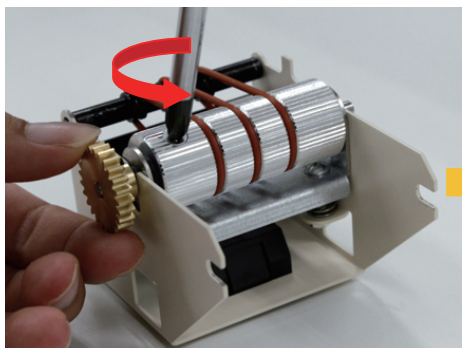
※小さなネジを取り外しますので、広い作業スペースで交換作業を行うなどご注意ください。

テープ送り出しゴム交換方法

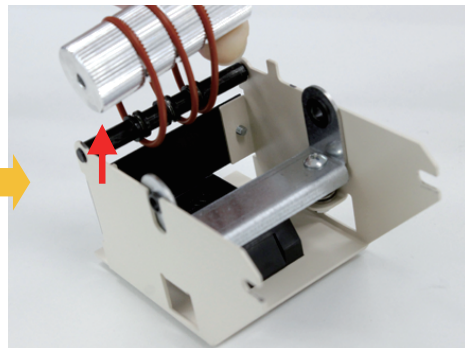
【ご用意いただくもの】・プラスドライバー ・新品の送り出しゴム

古いゴムの取り外し方

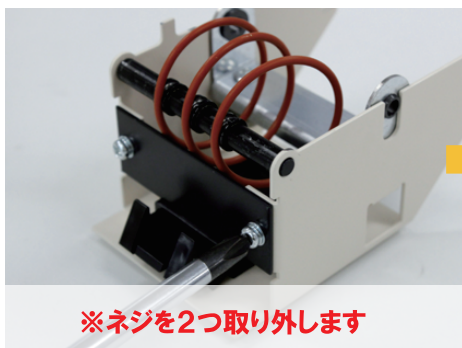
1. ドライバーを使用し固定ネジを緩め、ギア付きの軸を引き抜く。



2. 銀の太い軸を取り外す。



3. ドライバーを使用し黒いプレートを取り外し、黒い軸を取り外す。



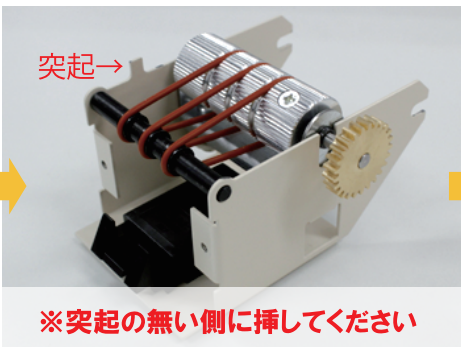
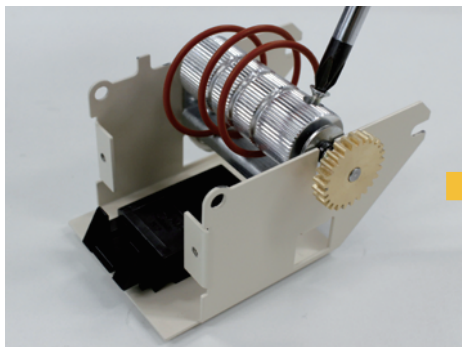
※ネジを2つ取り外します



※板金を外へ押し広げてください

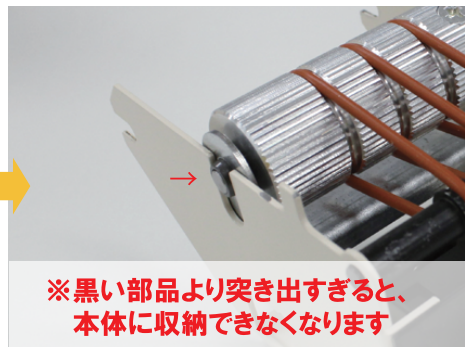
新しいゴムの取り付け方

4. 新しいゴムを銀の太い軸に通し、ギア付きの軸を差し込み、ネジで固定。



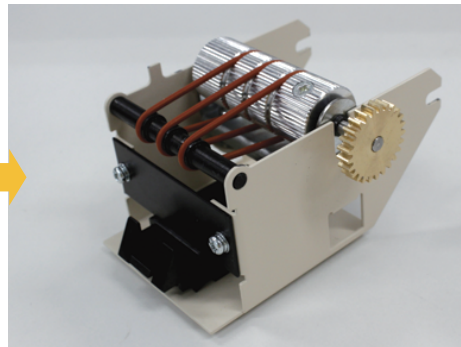
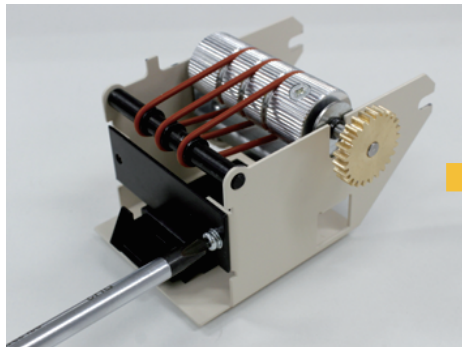
突起→

※突起の無い側に挿してください



※黒い部品より突き出すすぎると、本体に収納できなくなります

5. 黒いプレートで固定。



4. 完成

※直接刃の部分に触ると危険です。交換作業を行う際は十分に気を付けて行ってください。

刃の交換方法

刃の状態が下記の場合は刃を交換してください。

<先端が曲がってしまっている状態>



原因：動作途中で電源などを切ったりするとテープがきれずに刃に負担を与える可能性があります。

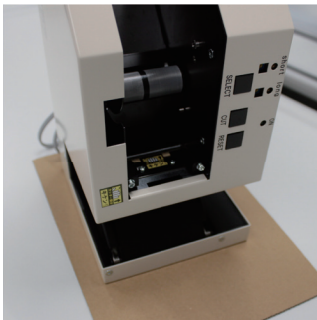
<刃こぼれしている状態>



原因：テープが何重にも重なった状態や異物を切ってしまった可能性がございます。
※テープの切れ端が残っていると切れにくくなります。

【ご用意いただくもの】 プラスドライバー、新品の刃

古い刃の取り外し方



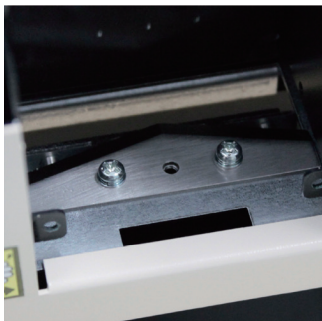
手順1：写真のように本体を縦に置いていただくと作業が行いやすくなります。



手順2：安全カバーに付いているネジを取り外してください。



手順3：安全カバーは引き抜くようにお取りください。



手順4：刃に付いているネジを取り外してください。

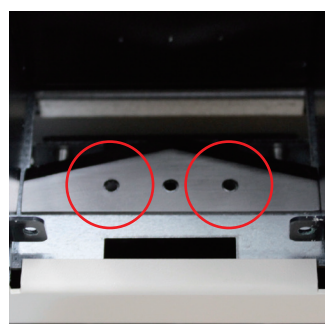


手順5：写真のように刃の前方を押し浮かしてお取りください。
※刃先には触れないようご注意ください。

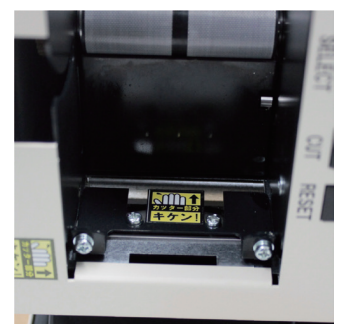
新しい刃の取り付け方



手順6：新しい刃を下からスライドさせるように入れてください。
※刃先には触れないようご注意ください。



手順7：刃を穴に合わせ両端をネジで固定してください。



手順8：最後にカバーを取り付けて終了です。